



今、何が起きようとしているのか
車から「移動」へ

(1月のごあいさつ)
2020年1月1日(水)

変化は、われわれが想像しているよりもはるかに早い。次のパラダイムの転換はいかなるものであろうか。常に考えている必要がある。

香港では現在、何が起きようとしているのであろうか。2019年9月16日に、中国本土への容疑者引渡し条例(逃亡犯条例改正案)に反対しているだけではない。11月25日区議会選挙での民主派の勝利は、**一国二制度の拒否**ではないか。改正案の完全撤回とより広範な民主的自由の保障などを求める「**五つの条件**」は、ほんとうは、**一国二制度の崩壊、香港の独立**ではなからうか。

人為的に作られ、うまく作動していたかに見えた**一国二制度の問題点**を考え直す必要がある。鄧小平など中国の指導者は、政治的な統一を重視するあまり、**経済的な自由**が、政治的、国家的な制約を超えるとは考えなかったのであろうか。それとも香港を捨て、**それに代わる金融・経済特区**を中国に新たに作り直そうと考えているのであろうか。

「**パラダイム**」、物の見方や時代の共通したすう勢が変化している。もし、自分の「**パラダイム**」が時代の変化に合わなければ、**その人に未来はない**だろう。したがって、未来を生きようと思えば、自己の**パラダイム**を常に新しいものにする必要がある。常に時代に合った、**馬車から自動車へ、「車から移動へ」、アナログからデジタルへ**の新しい**パラダイム**の変化を認識する必要がある。

Uberは、運転手の収入やアプリ開発、保守費を上昇させ、タクシー会社の資産や管理の収入を引下げている。物や人を前提としたシステムからITを前提とした**システムへのパラダイムシフト**が起きている。

UberもAirbnbもアマゾンもタクシーやホテルの部屋や店舗などの**物的設備**を持たずにそれらを利用することで高収益をあげている。

この調子で行けば、タクシーの車両管理システム、ホテルの宿泊予約システム、スーパーの在庫管理システム、金融界の決済システムも**パラダイムシフト**という大波を受けつつ現状のものは**衰退し、新しいものに**変化する必要があると言えるのではないか。

生活は一昔前に比べて豊かになり、情報技術も発展して、仕事にも高度な作業やスピードが重視されるようになってきている。IoTやビッグデータとは今まで見えなかった壁を取除き、更に多様なモノやコトをITにつなぎ、**可視化**することにより**経済的な利益(お金)**を生む方法なのかもしれない。

生き残りのために、同じ土俵(ルール)で戦ってはいない筈はない。

車から移動への変化、「**物や人のシステム**」から、「**ITやAIを前提としたシステム**」への変化を認識し、工夫し、挑戦しなければならない。